

中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会
大学院における社会人等の免許取得に資する新教育課
程ワーキンググループ

日時：2026年2月9日（月）15:00～17:00

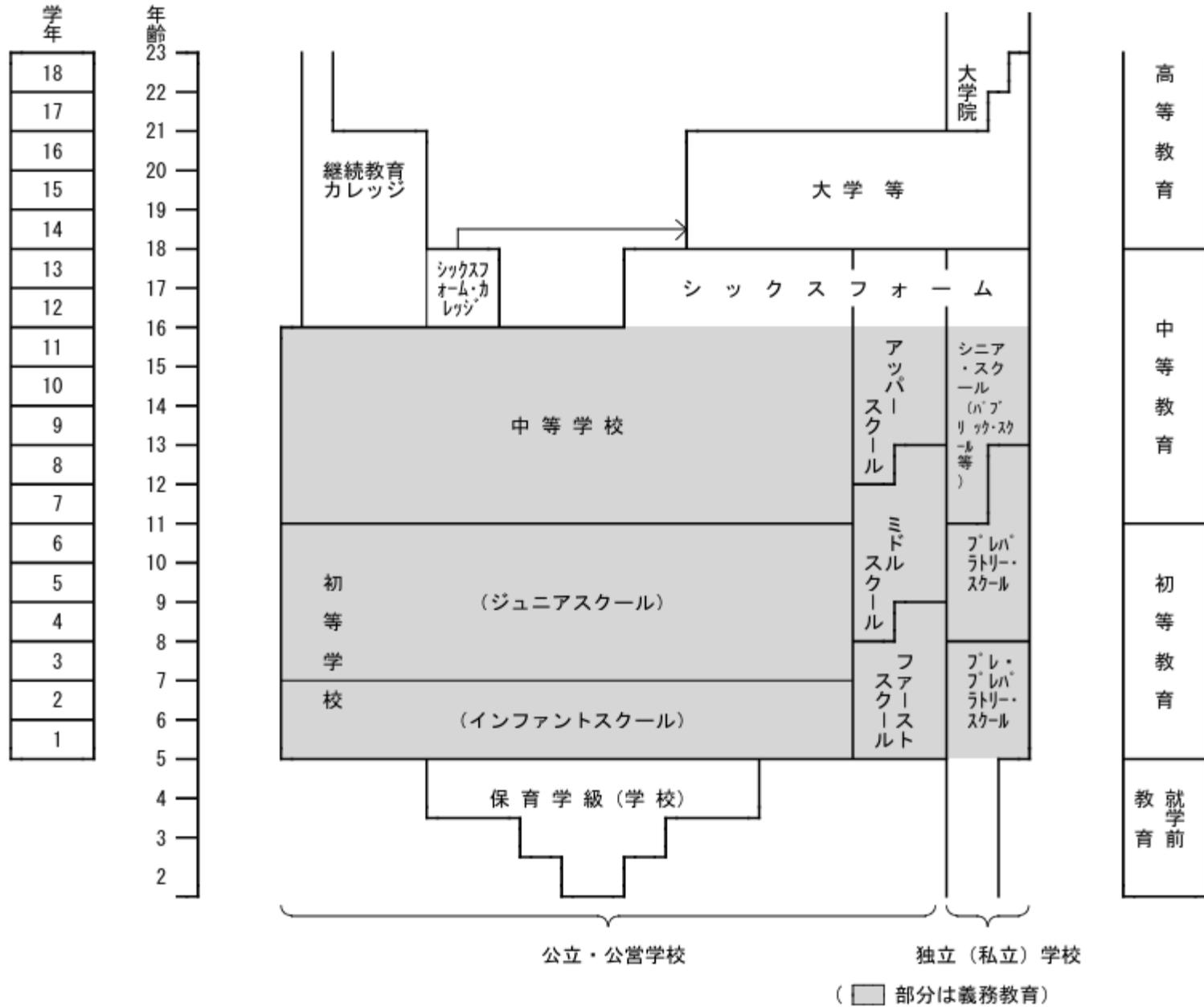
場所：文部科学省（対面／Web）

イギリス（イングランド）における教員養成 —多様性に着目した特徴—

植田みどり

（国立教育政策研究所）

イギリスの学校体系



イギリスの資格単位枠組みの概要

資格 レベル					
8	Doctorate (PhD)			NVQ8	
7	Masters degree (MA)			Degree apprenticeship/ NVQ7	
6	Bachelors degree BA or BSc			Degree apprenticeship/ NVQ6	
5	Foundation degree FdA or FdSc			Higher National Diploma (HND)	Degree apprenticeship/ NVQ5
4				Higher National Certificate (HNC)	Higher apprenticeship/ NVQ4
3	Aレベル (グレードA-E)	国際バカロレア	Tレベル	BECT diploma BECT certificate	Advanced apprenticeship/ NVQ3
2	GCSEグレード4-9 (C,B, A or A+)			BTEC first diploma	Intermediate apprenticeship/ NVQ2
1	GCSEグレード1-3 (D,E, F ore G)			Foundation diploma/ Entry level Qualification	Traineeship/ NVQ1
	アカデミックルート			職業資格ルート	応募/就職ルート

1. 教員養成（Initial Teacher Training, ITT）の制度の概要

①教員資格の取得が義務である

- ・ 公営学校（State School、アカデミー及びフリースクールは除く）、**教員資格**（Qualified Teacher Status, QTS）を取得した教師を雇用することが**義務**づけられている
- ・ 教員資格は**校種や教科による区別がない**。原則、学士（Degree）及び教員養成プログラムで専攻した教科の教師として雇用されるが、それ以外の教科についても学校の判断で教授可能である
- ・ 教員資格を取得した者は教師として登録され教員番号（Teacher Number）が付与される。**採用権をもつ学校**はその番号に基づいて教師の教員資格及びその他の取得資格、倫理違反歴等を確認する。合わせて、DBS（Disclosure and Barring Service）を利用して児童生徒への接近禁止リストを確認する

②多様な教員資格の取得するルートがある

- ・ **学部レベル**と**大学院レベル**がある
- ・ 学費も**受講者負担型**と**有給型**がある
- ・ 受講形態も**フルタイム**と**パートタイム**がある
- ・ 教員養成プログラムの**提供する主体が多様**である

③国が定める基準に基づいた質管理の仕組みがある

- ・ **資格単位枠組み**と紐付けされた資格制度である
- ・ 教員養成プログラムの**提供主体の認証及び監査**がある
- ・ **教員専門職基準**に基づく受講者の評価がある

④教員の雇用と定着の安定的確保を図るために教員養成、採用、研修において

- ・ 教員不足の教科及び地域への財政措置がある（有給、学費補助、奨学金など）
- ・ 初任者への支援プログラムを提供している（Early Career Framework, ECFの導入など）

教員資格取得ルート（就学前教員は除く）

			取得	期間	受講条件	概要
学部 レベル	受講者 負担	UGITT (Undergraduate Initial Teacher Training)	学士 QTS	3~4年	GSCE (英、数) レベル4 (C) 以上 Aレベル (大学入学基準)	学士 (degree) を取得することと併行して受講する (BED: Bachelor of Education、BA: Bachelor of Arts*特定の教科、BSc: Bachelor of Scienceなど)
	有給	TDA (Teacher Degree Apprenticeship)	学士 QTS	4年 (45ヶ月)	GSCE (英、数) レベル4 (C) 以上 Aレベル (大学入学基準) 16歳以上で3年間英国民	学校で勤務しながら、受講するもの ただし全体の40%は学校外での研修に充てることが求められている 終了時に評価 (end-point assessment, EPA) を受ける 給与基準は無資格教員 (約£22,000~£35,000、約462万円から735万円) 2025年秋から開始された制度 (ロンドン大学、ノッティンガム大学等の7大学)
大学院 レベル	受講者 負担	AO (Assessment Only)	QTS	12週間	学士 GSCE (英、数) レベル4 (C) 以上	教員専門職基準を満たし、十分な教授経験があり、追加の研修が必要ないと判断される 人材を対象 12週間の評価 (assessment) を受ける
		FFITT (Fee Funded Initial Teacher Training)	PGCE QTS	1年 (9ヶ月)	学士 GSCE (英、数) レベル4 (C) 以上	最も一般的な大学院レベルのルート 3分の2は学校でのOJT 受講料は最大、フルタイム£9,790 (約205万円)、パートタイム£7,335 (約154万円)
	有給	SDS (School Direct Salaried)	PGCE QTS	1年 (9ヶ月)	学士 GSCE (英、数) レベル4 (C) 以上	3分の2は学校でのOJT 給与基準は無資格教員 (約£22,000~£35,000、約462万円から735万円) 優秀な人材を対象 (3年以上の勤務経験など)
		PGTA (Postgraduate Teacher Apprenticeship)	QTS (PGCE)	1年 (12ヶ月)	学士 GSCE (英、数) レベル4 (C) 以上	3分の2は学校でのOJT 給与基準は無資格教員 (約£22,000~£35,000、約462万円から735万円) 終了時に評価 (end-point assessment, EPA) を受ける 2018年秋から開始された制度
		HPITT (High Potential Initial Teacher Training)	PGCE QTS	2年間	学士 GSCE (英、数) レベル4 (C) 以上	3分の2は学校でのOJT 給与基準は無資格教員 (約£22,000~£35,000、約462万円から735万円) 高い意欲と能力を持つ人材を対象 (Teach First等) 教員養成とリーダーシップ開発プログラムを受講 終了時に評価 (end-point assessment, EPA) を受ける
				*フルタイ ムの期間	*ただし、初等学校コース の場合は科学も含む	*£1=210円で計算

●FFITT：高等教育機関の教員養成プログラムーUCLー

カテゴリー	プログラム名
教員学士見習い	Mathematics and Secondary Mathematics Education Teacher Degree Apprenticeship BSc (QTS)
就学前	Early Years Initial Teacher Training (EYITT) Mainstream Route PGCE
	Early Years Initial Teacher Training (EYITT) Employment Based Route PGCE
初等学校	Primary PGCE
	Primary (Specialist Mathematics full-time) PGCE
	Primary (EYFS/KS1 full-time) PGCE
中等学校	Art and Design PGCE
	Biology PGCE
	Business Education PGCE
	Chemistry PGCE
	Citizenship PGCE
	Computing with ICT PGCE
	English PGCE
	English with Drama PGCE
	Geography PGCE
	History PGCE
	Languages PGCE
	Mathmatics PGCE
	Music PGCE
	Physics PGCE
	Physics with Mathmatics PGCE
Psychology PGCE	
Religious Education PGCE	
Social Science PGCE	
継続教育	Further Education PGCE

○Primary PGCE

- ・フルタイム（1年間）：36週
大学：9時～16時30分
学校：学校の始業時間30分前～就業終了時間30分後
- ・学費：£ 9,535（210円換算：約200万円）
- ・第一学位は、最低でもLower second クラスの大学学位
- ・Aレベルは科目の特定なし。GCSEは英語言語、科学（複合科学、生物、化学または物理のいずれか）、数学でグレードC/4以上。
- ・受講時点でDBSの結果及び労働衛生上の要件（身体的及び精神的健康）を満たしていることを示すこと
- ・プログラムは、対面式のセッション（講義、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワークなど）と、学校を拠点とする実践的な教育要素（実習、120日）から構成。
 - ①秋学期の学校体験
 - ②春学期の学校体験（対象的な環境1週間）
 - ③夏学期の学校体験
- ・修士レベル（レベル7）に2つ（60修士単位）、学部レベル（レベル6）に1つのコアモジュールが設定。
- ・評価は、教育観察、課題、主題の知識開発、専門的行動、自習への対応など総合的に判断される

（出典） <https://www.ucl.ac.uk/ioe/courses/teacher-training-pgce-courses>

●FFITT：高等教育機関の教員養成プログラムーUCLー

○モジュール（フルタイム）

①教授学習モジュール（Teaching & Learning through the core subjects）

- ・子供たちが言語の自信を育むのをどのようにサポートできるか、子供たちが学校でグループ化される方法と理由、反人種差別的な教育法をどのように開発できるか、効果的な教育法と機械論的な教育法と評価実践の違いの詳細な分析を検討するなど、現代の学習と教育の重要な側面を探求する機会を提供
- ・評価は注釈付き参考文献目録（2000語）の作成と、批判的なエッセイ（2000語）

②専門的実践（Professional Practices）

- ・提携校での学校体験（学校のメンターや大学のチューターがサポートし、教育スキルを開発および洗練）
- ・大学での科目別の教育セッションは、科目の知識を開発し、初等カリキュラムのすべての科目を自信を持って教えることができるように設計
- ・専門研究のセッションを教え、内省的な実践者になり、効果的な教室での教員になるために必要な専門知識、理解、スキルを開発することを支援

③主要科目の専門性（Subject Specialism）

- ・選択した専門分野と、幼児教育におけるその役割についての理解を深める
- ・教員/実務家の研究プロジェクトを通じて、専門分野の知識を学校での実践的な仕事に結び付け、教員としてのキャリアの後半で“サブジェクトリード”になるための準備をサポートすることが目的
- ・専門分野（11分野）から3分野を優先科目として設定。年度を通じて、初等教育のカリキュラムの性質を批判的に検討し、その起源に影響を与えた要因を探り、将来の変化の方向性を検討すること、専門分野の主題に関連する現在の研究、政策イニシアチブ、および実践の発展についての認識を高めること、研究と評価の手法と、これらを使用して学校での継続的な専門能力開発をサポートする方法についての理解を深めること、クラス全体およびグループ活動、および場合によっては学校、ギャラリー、博物館などへのオフサイト訪問など、理論と実践の連続体を支援。

（出典）<https://www.ucl.ac.uk/ioe/courses/teacher-training-pgce-courses>

●FFITT：学校ベースの教員養成プログラムーSomerset SCITTー

- ・ Somerset SCITTは、1998年から開始
- ・ Somerset LA (Support Services for Education) が中心となり、教員研修及び教員養成を地域内で行うために設置
- ・ Worcester大学、Somerset LA、民間企業 (NSFE/CACHE、ILM)、学校が連携してプログラムを提供
- ・ Worcester大学がPGCEの認証機関
- ・ SCITT PGCE、PGTA、AOを提供
- ・ SCITT PGCEとして3つのコースを提供
 - Primary (5-11 years)
 - Primary with Early Years Specialism (3-7 years)
 - Primary with SEN Specialism (5-11 years).

○SCITT PGCE

- ・ 1年間
- ・ レベル7のプログラム
- ・ PGCEとQTSの取得
- ・ 入学要件
 - 高等教育機関の学士
 - GCESの数学、英語、科学でC/ 4以上
 - DBSのリストに掲載がないことの証明、及び教員適格性宣言書、子どもや弱い立場の成人と関わるのに適した推薦状
- ・ 学費：£ 9790 (210円換算、約206万円)
- ・ 3校での実習
- ・ 3つのモジュールで構成
 - ①学校生活：QTSの取得要件の達成
 - ②教師育成：専門的アイデンティティ、責任、そして包摂的な実践
 - ③子ども理解：教育学、実践 (全ての人のための教育と学習)
- ・ 講義、ワークショップ、ピアグループ活動、指導読書、独立研究、指導学習、プレゼンテーション、チュートリアル、フィールドワーク、形成的評価と総括的評価の活用など多様な教育、学習、評価方法で行われる

(出典) <https://www.sciltraining.co.uk/scitt-pgce/> (最終確認2026年2月7日)

●SDS

- ・ 認証された機関が学校をベースにして提供する1年間（フルタイム）のプログラム
- ・ 入学要件
 - 高等教育機関の学士号（または同等の資格）
 - GCSEで英語、数学の成績がC/4以上（初等学校の場合は、科学も）
 - 3年以上の勤務経験を求めるところもある
 - 元雇用者の推薦状が必要
 - DBSのチェック
- ・ 学士号の専攻と関連していないコースを選択することも可能であるが、その場合は、「Subject Knowledge Enhancement (SKE) Course」の受講を求められる場合がある
- ・ 学校に無資格教員として雇用される形式が取られる。
- ・ 有給（無資格教員の給与スケールが当てられる）
- ・ PGCEと連動したものがほとんどであるが連動していない場合もある
- ・ 教員不足の教科（化学、コンピュータサイエンス、英語、地理、言語、数学、物理学など）のコースを重視

* SKE Course

- ・ 学士取得から5年以上経ている、学士及びGCSEの科目とは異なるなどの場合に受講が求められる
- ・ 科学、コンピューティング、言語、数学、物理学のコースが用意されている
- ・ 通常オンライン（教室でのコースもある）
- ・ 8週間から28週（1週間25時間の学習）、能力によりコースの長さが変わる
- ・ 教員養成コースの受講前に終了することが望ましい
- ・ £175（約36,000円）の奨学金もある

●PGTA

- ・ 初等学校、中等学校のコース
- ・ 週4日は学校で勤務（そのうち1日は研修日）
- ・ QTSのみとPGCEの両方を取得できるコースがある
- ・ 9か月（フルタイムの1年間）のプログラム
- ・ 実践と理論の両方を重視する

—London Metropolitan University—

- ・ PGTA in Primary with QTS and PGCEを提供
- ・ 入学条件：見習い教師として勤務できること
GCSEの英語、数学、理科でC/4以上の成績
学位（できればグレード2.2）または同等の学位
DBSの証明書、健康診断書の提出
リテラシーと計算能力のテスト（大学独自）を面接時に受ける
英国に3年間居住していること（外国籍でも可）

・ モジュール

①カリキュラム研究（30単位）

：専門分野を効果的な実務者として教えるための適切な知識、スキル、理解を身につけることを確実にし、コア・コンテンツ・フレームワークの関連要素をすべて満たすことを目的とした学習

②プロフェッショナリズムと包摂的实践（30単位）

：プロフェッショナル・インクルーシブ・プラクティスという学習を行う。教師としてのプロフェッショナリズムや専門的思考のあらゆる側面に備え、専門的アイデンティティの形成を目的とした学習。
（社会正義のための教育、批判的教育学、カリキュラムの主要な哲学を批判的に理解することなど）

③学校実習（36週間）

：2つの異なる学校での専門的实践。教室内外で批判的に反省的な実践者となることを目指す

●HPITT—Teach First—

- ・2年間のプログラム
 - 1年目は、無資格教員として勤務し、QTSを取得（PGCEも取得可能）
 - 2年目は、初任者教員として勤務し、プログラム“アンバサダー”となる
- ・“Change Leader”となることを目指している。学校のリーダーになることが目的のため、QTS取得のための学習と同時に、ネットワーク、パートナーシップ、スクールリーダーシップ、イノベーションなどについての学習する。
- ・QTSとPGCEの取得が可能
- ・入学要件
 - GCSEの英語、数学、科学（初等学校の場合は）でC/4以上の成績
 - 教科と関連した学士号（できればグレード2.2）または同等の学位
 - 英国国内で就労が可能な条件を満たしていること（DBSの証明書、健康診断書の提出など）
- ・有給型のプログラム
 - 1年目：£ 23,000から£ 33,500（483万円から703.5万円）
 - 2年目：£ 33,000から£ 40,000（683万円から840万円）

* 詳細は <https://publications.teachfirst.org.uk/view/785816082/16-17/>

（出典） <https://www.teachfirst.org.uk/training-programme>（最終確認2026年2月8日）

●Assessment Only

・受講要件

- ：教員専門職基準を満たし、追加の研修が必要ないと判断されるもの
- ：すでに2校以上で勤務経験があること
(補助教員: Teaching Assistantの場合は、少なくとも2年間は一人で授業をした経験が必要)
- ：学士号を持っていること
- ：GCSEの英語、数学（初等学校の場合は科学も）の成績がC/4以上
- ・受講料：£ 1,500から£ 4,000（210円換算、31.5万円から84万円）
- ・12週間の評価期間を経て合格したら、QTSが取得できる（PGCEは取得できない）

—Ambition Institute—

- ・受講料：£ 3,250（約68万円）
開始前に£ 250を支払い、面接後に合格したら£ 3,000を支払う
- ・12週間かけてプロフィールをオンラインで作成（設問への回答、授業計画、観察記録等）
- ・6週間後に中間評価（Ambition Instituteの専門評価者による授業観察、フィードバック等）
- ・12週目に最終評価（授業観察、プロフィールの評価等）

(出典) <https://www.ambition.org.uk/programmes/assessment-only/>（最終確認2026年2月8日）

—Warwick大学—

- ・受講料：£ 2,725（約57万円）
開始前に£ 550を支払い、面接後に合格したら£ 2,175を支払う
- ・上記のほかに、英語能力証明（English Language Proficiency）、前職の説明、DBSの証明等
- ・大学内の評価者による初期評価（IDのチェック、授業観察、面接等）、学校内の評価者及びメンターによる評価（毎週の授業観察、評価結果を大学内評価者と協議、フィードバックなど）、大学の評価者による最終評価（学校訪問時に3つの授業を観察）
- ・受講者はプロフィールを作成し提出。評価の対象

(出典) <https://warwick.ac.uk/fac/soc/cte/professionaldevelopment/ao/#course-tab-4>（最終確認2026年2月8日）

●教員養成プログラムとしてのPGCEの特徴

○PGCEの受講要件

- ・ 学士 (bachelor's degree) あるいは同等の資格
- ・ GCSEの英語、数学、科学でグレード4 (C) 以上

○PGCEを受講することの意義

- ・ 教授学習の知識 (teaching skills and knowledge) を取得することができる
 - * 教科に関する知識 (subject knowledge)
 - * 教授技術 (teaching methods and techniques)
 - * 対人スキル (people skills)
適応性、コミュニケーション、創造性、共感、組織、辛抱、問題解決、反発力、自覚、チームワーク
- ・ 最大60単位を修士課程 (master) に移行できる
 - * PGDE (Postgraduate diplomas in education) は120単位が修士課程に順当できる
- ・ 国際的な基準の資格である

○PGCEの特徴

- ・ 学校 (3分の2) と大学等での座学。24週間の学校 (最低2校) での実習が実施される
- ・ 入学にあたり基礎学力 (Baseline Assessment) が求められる (GCSE、Aレベルの成績等)
- ・ 必要に応じて、SKE (subject knowledge enhancement) コースの受講を求められる
 - * 学部卒業後5年以上経過、学士号やAレベル科目等と異なる分野を希望するなどの理由がある場合
 - * 化学、コンピューティング、言語、数学、物理学が用意されている

Get Into Teaching

Nobody knows teaching like we do. Whether you're just thinking about it or ready to apply, we offer **free advice and support** to decide if **teaching in a primary or secondary school** in England is right for you. Discover a career with **lots of opportunities to grow**.



出典： <https://getintoteaching.education.gov.uk/>（最終確認2026年2月1日）

- * 自分のキャリア、資格、希望する受講方法等に応じた教員資格の種類や受講コースを選択するための情報を提供
- * 検索から受講コースの申込等まで一元的にできるシステム
- * 情報提供に加えて個別相談及び支援にもアクセスできる

<https://getintoteaching.education.gov.uk/funding-and-support>

2. 多様な教員資格取得ルート：教員数の概要（2024年度）

○教員数：468,257.9人

職員数：517,496.3人

*FTE（Full Time Equivalent）で計算した数値

○教員の年齢構成

25歳以下：4.2% 40～49歳：28.3%

25～29歳：13.4% 50～59歳：18.1%

30～39歳：33.0% 60歳以上：3.0%

○教員の新規入職者数：41,736人（FTE）

・新規資格取得者：16,999人（40.7%）

・復帰者：17,274人（41.4%）

・延期新規資格取得者：2,710人（6.5%）

・公立学校への新規参入者：4,753人（11.4%）

○教員の資格レベル

合計：513,434人（Headcount）

・資格レベル4以上：496,056人

〔有資格者〕

資格レベル4以上：489,883人

修士（Masters degree）以上：47,565人

PGCE, PGDE, ProfGCE, ProfGDE：283,614人

学士（Bachelor degree）：156,760人

その他：1,944人

〔無資格者〕

資格レベル4以上：6,174人

* PGDE: The Postgraduate Diploma in Education

* ProfGCE: The Professional Graduate Certificate in Education

* ProfGDE: The Professional Graduate Diploma in Education

（イギリス（イングランド）には、学術資格と職業資格を統合する形での資格単位枠組み（Qualification and Credit Framework, QCF）がある。

全ての資格において、レベルと学習量（Credit：単位数、1 Creditは10時間の学習量を示す）を定めている。そして3つの資格タイプがある

・ Award：1～12 Credits ・ Certificate：13～36 Credits

・ Diploma：37 Creditsが必要

（出典）

DfE (2025) School workforce in Education 2024

(<https://explore-education-statistics.service.gov.uk/find-statistics/school-workforce-in-england/2024#dataBlock-34fbc4c8-897b-4639-a140-1c1b2359bdbb-tables>、2026年2月1日最終確認)

2. 多様な教員資格取得ルート：入学者の現状（2025年度）

○大学院レベル新規入学者数

：26,620人（82.7%、前年比10%増）

学部新入学者（2024年度）

：5,555人（17.3%、前年比16%減）

○大学院レベル入学者の年齢構成

25歳以下：50%

40～44歳：5%

25～29歳：22%

45～49歳：4%

30～34歳：9%

50～54歳：2%

35～39歳：6%

55歳以上：1%

○大学院レベル教員養成プログラムの新規入学者数の構成

		2024 年度	2025 年度
大学院レベル（学費）	学校主導（SCITT）	32%	32%
	高等教育機関	51%	52%
大学院レベル（有給）PGTA	学校主導（SCITT）	5%	5%
	高等教育機関	2%	2%
大学院レベルSchool Direct（有給）	学校主導（SCITT）	3%	2%
	高等教育機関	1%	0%
大学院レベル（有給）HPITT	学校主導（SCITT）	6%	5%
	高等教育機関	0%	0%

（出典）DfE (2025) Initial Teacher Training Census
2025/26

（<https://explore-education-statistics.service.gov.uk/find-statistics/initial-teacher-training-census/>、2026年1月25日
最終確認）

2. 多様な教員資格取得ルート：終了者の現状（2023年度）

○ルート別教員資格取得率及び教職着任率

○大学院レベル修了者数
：22,760人

○教員資格取得率
：93%

○教員資格取得者の内、年度末～16ヶ月以内に教職につく割合
：75%
15,921人

ルート	人数（人）	教員資格取得率	教職着任率
大学院レベル全体	22,760	93%	75%
大学院レベル（学費）	19,086	93%	73%
大学院レベル（有給）	3,674	95%	83%
HPITT	1,243	92%	88%
PGTA	1,647	97%	80%
SDS	784	95%	83%
学部全体	5,641	82%	64%
大学院レベルと学部全体	28,401	91%	73%

（出典）

DfE (2025) Initial teacher training performance profiles 2023/24

(<https://explore-education-statistics.service.gov.uk/find-statistics/initial-teacher-training-performance-profiles/2023-24>、2026年1月25日最終確認)

3. 質管理の仕組み：提供機関の認証・監査

○教員養成プログラムの提供者は教育省（Department for Education, DfE）が定める基準で認証される

* DfE (2025) Initial teacher training (ITT): criteria and supporting advice

* DfE (2024) Initial Teacher Training and Early Career Framework

⇒ 認証、教育課程の要件、受講者の選考、
質管理の基準として位置

○教員養成プログラムの提供者は、教育水準局（Ofsted）の監査を定期的（3年ごと）を受ける。

提供機関の種類に関係なく、共通の監査の枠組みに基づいて監査される

* Initial teacher education (ITE) inspection framework
(監査領域)

- ・ インクルージョン
- ・ 教育課程と教授訓練
- ・ 到達度
- ・ 専門的行動及び専門性の発達とウェルビーイング
- ・ リーダーシップ（コンプライアンス、安全含む）

(評価基準)

- ・ 5段階で評価

(Exceptional / Strong standard / Expected standard / Needs attention / Urgent improvement)

(出典) <https://www.gov.uk/government/publications/initial-teacher-education-ite-inspection-toolkit-operating-guide-and-framework/initial-teacher-education-ite-inspection-framework-for-use-from-january-2026>（最終確認2026年2月8日）

(表1) ITTと初任者研修のフレームワーク

	項目	内容
1	高い期待	高い期待を設定する
2	児童生徒の学習	よい成果を上げる
3	教科と教育課程	よい教科とカリキュラムに関する知識を表明する
4	学級実践	よりよく系統立てられた授業を計画し実施する
5	適応性のある教授	適応性のある教授
6	評価	正しく効果的に効果を活用する
7	生徒指導	効果的に生徒指導を行う
8	専門職としての行動	より幅広い専門職としての責任を果たす

(出典) DfE (2024) Initial Teacher Training and Early Career Frameworkより作成

3. 質管理の仕組み：受講者への評価

○入学時の評価

- ・全国共通試験（GSCE及びAレベル試験）の成績：英語、数学、科学（初等学校のみ）
- ・学士号の成績（教科と関連した学士号）
- ・基礎教科に関する学力
：教科知識試験（Subject Knowledge Examination）の実施

○終了時の評価

- ・教師の専門職基準（Teacher Standards）に基づく評価
 - ①生徒に高い期待を設定し、刺激を与え、やる気を起こさせ、挑戦を促す
 - ②生徒の良好な進歩と成果を促進する
 - ③教科およびカリキュラムに関する優れた知識を示す
 - ④構成の整った授業を計画し、実施する
 - ⑤すべての生徒の強みとニーズに対応するよう指導を適応させる
 - ⑥評価を正確かつ効果的に活用する
 - ⑦生徒の行動を効果的に管理し、良好で安全な学習環境を確保する
 - ⑧より幅広い専門的責任を果たす
 - * 具体的な評価の方法は提供主体によって異なる
 - 授業観察、ポートフォリオ、インタビューなど

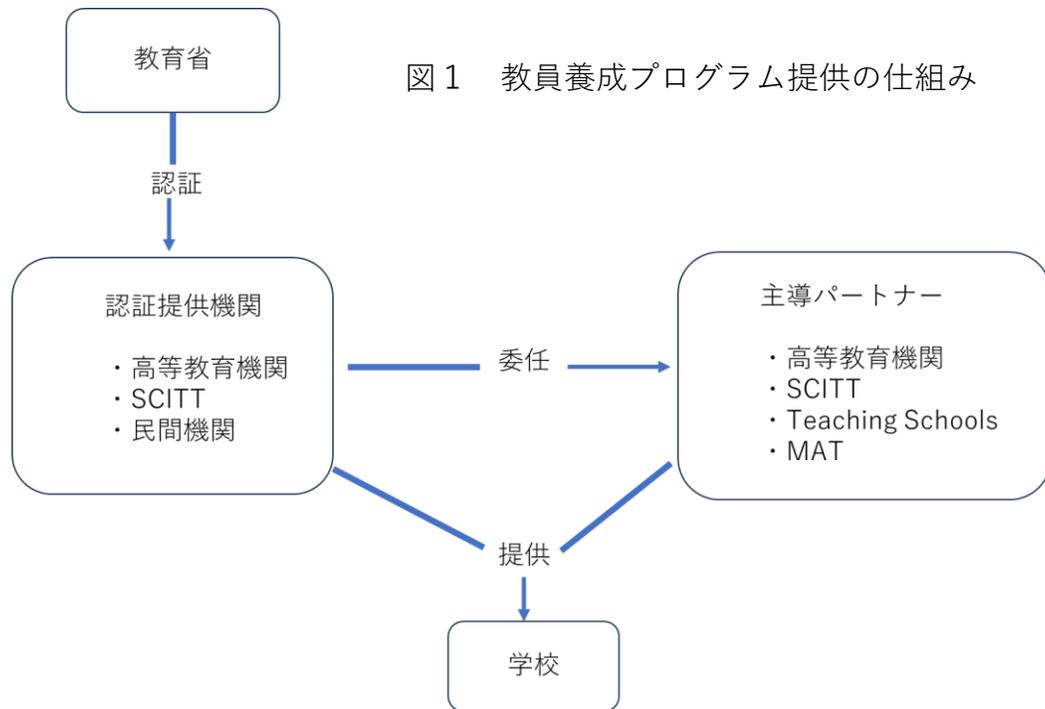
- ・EPA（End Point Assessment）に基づく評価
 - * 徒弟制度（apprenticeship）における最終試験
 - * 研修で習得した知識、スキル、行動を独立した機関（EPAO）が評価する。これに基づく認定証を受領することで終了したとみなされる
 - * 授業観察、プロフェッショナルディスカッション（ポートフォリオに基づき、指導の意図や教育方針について議論）により評価を行う
 - * 教師の専門職基準を満たしているかが評価の観点であり、基準となる

（出典）DfE (2020) End-Point Assessment Plan for the Teacher apprenticeship

（出典）DfE (2021) Teachers' Standards

4. まとめ：イギリスにおける教員資格取得の特徴

- 多様な年齢及び学士を持つ人材が、高等教育機関が提供あるいは学校主導型プログラムを通して教員資格（QTS）を取得していること
- 教員資格の取得プログラムが大学（3年間）卒業後の資格単位枠組みのレベル7に位置付けられていること
- 学費か給付型か、フルタイムかパートタイムかなど受講形態、方法を選択できること
- 教員資格取得のプログラムを提供する多様な機関（高等教育機関、学校など）を、国が認証、監査すること
- 教員養成プログラム提供者としての認証を受けた機関と主導パートナーがパートナーシップを形成して、教員養成プログラムを提供すること（図1）



- 大学院レベルの教員養成では、大学と学校現場の双方での学習経験を通して教員としての実践力と、その実践の基盤としての理論を学習する。理論と実践の往還が重視されていること
- 教科に関する専門知識としては、学部段階や経験をベースとし、大学院レベルでは教科指導や教育学的理論等の習得を重視していること
- PGCEでは、修士課程に適用できる単位が取得できること（60単位、PGDEは120単位）
- 質保証の仕組みとして、組織の質保証としての認証と監査があり、教員資格取得者の質管理として教員専門職基準による評価があること

（出典） <https://becoming-a-teacher.design-history.education.gov.uk/becoming-a-teacher/understanding-the-relationships-between-organisations-delivering-initial-teacher-training/>（2026年2月1日最終確認）より作成

【参考・引用文献資料】

- DfE (2024) Initial Teacher Training and Early Career Framework
- DfE (2025) Initial teacher training (ITT): criteria and supporting advice
- Ofsted (2025) Initial teacher education (ITE) inspection framework: for use from January 2026
(<https://www.gov.uk/government/publications/initial-teacher-education-ite-inspection-toolkit-operating-guide-and-framework/initial-teacher-education-ite-inspection-framework-for-use-from-january-2026>、2026年2月8日最終確認)
- Robert Long, Shafi Danechi (2023), Initial teacher training in England, House of Commons Library
- DfE (2021) Initial teacher training (ITT) market review report
- 佐藤仁編著 (2023) 『多様な教職ルートの国際比較—教員不足問題を交えて—』 学術研究出版
- 国立教育政策研究所 (2025) 『教育分野の公務労働に関する調査研究3 諸外国における教員の働き方』

【主要参考サイト】

- Get into Teaching
<https://getintoteaching.education.gov.uk/>
- DfE Initial teacher training (ITT)
<https://www.gov.uk/government/collections/initial-teacher-training>
- DfE Statistics: initial teacher training
<https://www.gov.uk/government/collections/statistics-teacher-training>